

## 会 議 録 (会議経過含む)

会 議 の 名 称	21年度第2回 由利地域協議会
開 催 日 時	平成21年10月26日(月) 午後3時～5時20分
開 催 場 所	善隣館 ホール
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「名簿」のとおり
<b>会 議 次 第</b>	
1. 開 会	15:00～ (進行:加藤振興課長)
<b>2. 会長あいさつ</b>	
<p>秋の農作業も一段落した。昨日は市議会議員選挙の投開票日であり、30人の議員が決まった。選挙に関係していた皆さんにおかれましては、お疲れのことと思いますが、今日の地域協議会も活発な意見が出るようよろしくお願いいたします。新しい議員など議会も新体制になる訳ですが、地域協議会との関係も出てくる。市で諮問した案件など、同じ案件を協議していくことになる。立場は違うが、地域のためにお互い研鑽しあいながら進めていかなければならない。今、政府も政権が代わり新しい制度がでてくる。農家においては個別所得補償制度もあり、期待も不安もある。耕作放棄地解消、飼料米用に10万ヘクタールの計画との記事があった。このようなこと、国県の政策に興味を持ちながら勉強していかなければならない。市の状況についても、先日のさきがけ新聞に掲載されていたが、住民も興味をもっている。市財政の実質公債比率も18.3%になって、様々な事業の繰り延べなど話題もつきない。新しい市長、長谷部市長も23年度がピークで、24年度から通常に戻ることを述べている。各地域で合併当初に計画した事業が縮小、繰り延べされていく中で、一つでもよかったと思えるものが必要と思われる。秋田県の子供達は、全国の学力、体力調査でもトップクラスであり文武両道ですばらしいことである。この子供達がどのように成長していくのか大人の力が試されてくる。地域の子供達が健やかに成長していくためにも、この協議会で試行錯誤しながらいかなければならない。前の新聞で、今の地域協議会はガス抜きと記事になったことは皆さんも承知であると思います。決してこのような会ではないように、今後も皆さんのご協力をお願いしたい。</p>	
<b>猿田理事挨拶</b>	
<p>第2回目の由利地域協議会の開催にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。</p> <p>市長は、秋田市で広域連合の議会本会議中であり、この会には出席できませんが、夕方からは参加するとのことでしたので、繋ぎの役目をお願いいたします。</p> <p>会長からもお話がありましたが、昨日はどうなるのか予測もつかない議会選挙が行われましたが、由利地域からは3名がきちんと当選されました。11月13日に新議員体制による臨時議会の予定がされております。所属やら正副議長などが決定され、それを受けて我々職員も気持ちを新たにしていけることとなります。今の季節は日が短くなってきており、我々市職員としても来年度の予算にとりかかりながら、今年度事業のピークの仕事をやっているときであり、様々な制約等きついこと</p>	

もある。22年度は国の経済対策は見込めないが、地域で抱えている課題をどうやって実現していくか、頭を悩ませながら実現にこぎ着けていかなければならない。由利地域におかれましても、課題はたくさんありますが、この由利地域協議会は、少数精鋭で意見を言うにもお互いの顔が見えて話がしやすく、私としても足が向きやすい協議会です。

今日の議案にある、地域づくり推進事業について、後で事務局の振興課から説明がありますが、知恵と工夫で、地域が活性化するようなソフト事業が、地域からの提案により実施できないものかということで、今回の地域協議会に提案させて頂きました。時期的に予算の策定に取りかかっており、節ごとに割り振りは厳しいかもしれませんが、次回の地域協議会あたりまでに、委員の皆さんから提案されたものを、新年度予算に盛り込んでいければと思います。次年度以降にも継続して繋がっていただけるようなパワーを是非お願いしたい。

定住自立圏構想の形成方針は、皆さんと議会の同意を得て進んでいる。今回、次第の行政報告で説明しますが、一部の文言などが追加されたが、大筋は変わっておりません。

年度末に向けて圏域のプランを作っていくことになり、プランを練るプロジェクトに地域協議会からも協力して頂くこととなりますので、その際はよろしくお願いたします。

インフルエンザもじわじわときている。家族の中で新型と判定されたため、一週間でてくるなど言われた職員もいる。由利地域におかれましても、充分注意して下さいようお願いします。

寒い時期になりましたので、お体には充分に気をつけてお過ごし下さるようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

### 3. 行政報告

#### (1) 由利地域（7～9月）の主な行事等の報告について（報告 ～ 荘司由利総合支所長）

配布 資料-1 により説明

(A委員) 9月20日のコスモスマつりの集客数は？

(荘司支所長) 1,500人と発表しています。

(A委員) 昨年の集客数は？また、今年のコスモスの花の咲き具合はどうだったのか？昨年はチラシ等の宣伝を見て来てみたら、咲がさっぱりだったとの意見であった。

(荘司支所長) 今年も咲き具合はイマイチでした。現場では雨、風などにより花が散ったとのことであったが、来年は肥やしを施すなどの対応をして今年以上に良い花を咲かせたい。

(佐藤会長) 国指定になった大物忌神社の看板が小さくわかりづらく、わかりやすい大きい看板を作る計画は？

(荘司支所長) 森子の道が狭く、駐車場もなく苦情が寄せられていると聞いている。先般、管理連絡会を立ち上げ、この会で駐車場などの問題も提示し協議していきたい。

(A委員) 由利中サッカー一部の快挙について、この小さな地域の小さな学校が立派な成績を治めたことはすばらしく、報告会などの催しは予定されていないのか？地域を元気づけていくようなことを考えていくべきでは？

(荘司支所長) 報告会は市役所正面玄関で盛大に行った。広報にも大きく掲載され、皆さんもご覧になったことと思います。由利地域では支所前で報告会を行っており、ゆりまつりでも写真展を行うことで予定している。

(B委員) サッカ一部親の会から全国大会の寄付が来た。かなりの額が集まったと思われ、会計報告がないのはどうかとも思うが、寄付依頼者名に後援会長、親の会の名前しかなかった。由利中学校として全国大会に出場するので総責任者としての学校長の名前も書くべきでは？学校長を経験された佐藤金市さんはどう思われますか？

(C委員) 以前、私の経験では、直根小で陸上の全国大会に出場した時には、校長名も付けて寄付を募った。学校地域が一体となって取り組んでいくことが大事と思われます。

(B委員) 親の会からも協力性がないとの声もある。協力的にしてほしい。

(荘司支所長) 意見として承ります。

(C委員) サッカ一部だけでなく、前には野球も全国大会、ソフトも東北大会、小学校は陸上が全国大会に出場しているが、勝ち進めば進むほど選手だけでなく応援など、子供の家族にもお金がかかって大変と思われる。親からも頑張れば頑張るほど辛い面が多いとも聞こえてくる。子ども達に夢や希望を与えるためにも、経費面での援助などの環境づくりが大事と思う。

(荘司支所長) 充分とはいえないと思いますが、市から補助を頂いた。応援分の経費は寄付で支援していきたい。

(D委員) 由利原まつりは大盛況であり大変よかったが、駐車場が少なく苦情もあった。駐車場を作るなど増やすようにしてほしい。

(荘司支所長) 警察等からもこのような反省点があった。年1回のためのイベントで駐車場を新たに作るのはどうなかとの意見もあり、あまり有名なタレントをつれてこないようにしたらとの意見もある。

(E委員) 公共施設の修繕は6月から9月になるべくしないでほしい。今回ゲートボール場の修繕が夏場の時期に行われていたため、各種のゲートボール大会を中止にした。イベントのない時期に工事をしてもらいたい。

(荘司支所長) 意見として承りました。

## (2) 由利本荘市定住自立圏形成方針の策定について (報告 ~由利総合支所振興課 佐藤主査)

配布 資料-2 により説明

(F委員) 合併時に作成した計画と今回の定住自立圏の関わりについて教えてほしい。

(猿田理事) 合併時に作成した由利本荘市総合発展計画と定住自立圏の中には係わりがあるものもあり、総合発展計画から定住自立圏に移行した事業もいくつかある。また、一部総合発展計画に載せることのできなかつた事業についても定住自立圏構想に載せたりしている。

(F委員) 方針以外に取り組み計画を策定するのか？

(猿田理事) 計画というか、今後は、この形成方針に基づいて、それぞれの関係部局が関係機関と調整を図りながら取り組みに係わる具体的事業の組み立てを行い、圏域共生ビジョンの原案作成に入るといった流れになります。

(加藤課長) そのほかにありませんか？なければ次に進ませていただきます。

## (3) 地域活性化臨時交付金事業 (由利地域事業) について (報告 ~由利総合支所 各課長)

配布 資料-3 により説明

(佐藤会長) 緊急雇用事業の由利地域さくら満開事業では、桜の本数は何本位なのか？

(加藤課長) およそ500本です。場所は桜100選の由利地域箇所10カ所を予定しています。

(F委員) 臨時対策交付金事業は、100%の交付金か？

(荘司支所長) そうです。

(佐藤会長) 経済対策の建設課で街路灯の設置場所は？

(遠藤課長) 交付金事業では、吉沢は2カ所2基、山本キミ商店から小林工業間で2カ所2基、久保田1基、森子1基、明法1基、堰口1基の8基です。その他、緊急性を考慮して通常の予算で設置する予定です。

(B委員) 先程、振興課長から、さくら満開事業での対象木について、桜や松と言われたが、さくら満開事業は桜の木だけではないのか？

(佐藤主査) さくら100選の由利地域10カ所にある、桜のテング巣枝などの剪定が主ですが、同じ敷地内にある樹木についても、病気のある木をはじめ、著しく剪定が必要なものについても、剪定作業をしてもらうことにしております。

(B委員) アメシロ防除の薬品代助成について、厳しい市財政状況により数年前から助成がなくなった。集落で防除作業を行い、集落内にある公共施設の木にも防除している。薬品代はあまり高くないためそんなに集落の負担ではないが、アメシロ薬品代助成を無くし、公民館バスのガソリン代を多く予算化したのはなぜか？

(猿田理事) 市の補助金等について、今は、一律いくらかでも受益者負担が生じている。

防除薬品代助成については、助成制度がまったく無くなったとのことであり、今後所管部署に持ち帰り検討材料としたい。

(G委員) 総合支所長の裁量で出来る支所管理費を500万円から1000万円にすることはできないのか？

(猿田理事) 今年は、国県の臨時交付金事業により、今までやれなかった道路の修理など地域の課題であったものがある程度実施できた。来年度については、未だ案の段階ですが500万円の修繕等に使う支所管理費が200万円増えて700万円となる予定。これから協議案件で説明があると思いますが、300万円のソフト事業と合わせ1000万円を予定している。今は、なんとしても500万円で足りない部分は市の予備費などの予算で対応することになる。災害など緊急を要するものは地域の枠を超えて実施することになるのでご理解願いたい。

(B委員) 500万円の使い方は？用途を教えてください。

(荘司支所長) 由利総合支所としては、50万円以下の緊急を要することに使うこととしている。用途など明細は、次回の協議会で開示したい。

(木内芳委員) 合併後2年は1000万円であり、3年目から500万円になった。1000万円のときは1つの事業100万円未満としていたが、現在もそのような内容というか、以前と変わっているのか？

(荘司支所長) 今も緊急性の高いものと条件が付いている。

(A委員) 支所管理費の修繕は、支所長の判断で使える緊急的なもので具体的な条件をつけないことであったと思うが、財政側からいろいろと言われて使いたいものにも使えなく制約があるのではないのか？

(猿田理事) 今の財政ではあり得ないと思う。地域実情があるので地域の判断で実施できる。  
ただし、財務規則に則った手続きは必要である。

～ 休憩 ～ 16:15～16:25

#### 4. 協議

(佐藤会長) それでは協議に入ります。議事録署名人は私から指名してよろしいでしょうか？

(委員全員) 異議なし。

(佐藤会長) では、佐藤文夫委員と尾留川朋四郎委員を議事録署名人に指名いたします。

協議の(1)について、事務局より説明お願いいたします。

##### (1) 地域づくり推進事業について (説明 ～由利総合支所振興課 佐藤主査)

配布 資料-4 により説明

(E委員) 南由利原の平和の塔のモニュメントは修理が必要と言われている。私どもの方で管理しているが、1年間で500円の養銭しか入ってなく、とてもじゃないが、私どもで修理が出来ない状況である。南由利原のシンボルでもあり市で考慮できないか？

(荘司支所長) 来年の春に見せてもらいたい対応したいと思います。

(H委員) ゆりの花のPRについて、町の頃は行っていたが、今後はどのように考えているのか？

(三浦産業課長) 町の頃は専門の職員などを配置しPRなどを行ってきたが、現在はいなくなっている状況であり、また、ゆりの栽培等管理には多くの経費も掛かるため市側としては見直しをしてきた。この事業での実施は可能だと思う。

(A委員) 地域づくり事業は今後も継続される事業なのか？

(猿田理事) 市長の考えにより新たに出来た事業であり、少なくとも市長の任期の4年は継続されるものと思います。

(A委員) 資料4の、その他経費の財務規則上認められないとは具体的にはどのようなものか？

(猿田理事) これについては、私も何のことをいっているのかわからない。私から企画調整課に確認しておきます。

(I委員) 提案書は一般の人から出してもらうのはだめなのか？たとえば、若い人ですが、これをやりたい、こうした方がいいのでは？などの地域活性化のための様々な提案がたくさんある。やりたいことがたくさんあってもやりようがない実情で、若い人たちのやる気も無くなってきている。提案書は地域住民からも提出させた方がいいのでは？

(佐藤会長) 地域協議会委員は地域住民の代表として委嘱されています。委員の皆さんが地域の声を汲み上げて提案してほしい。

(荘司支所長) この事業は、地域協議会委員からの提案となっていることもあり、住民の声や意見など情報を収集して、委員の皆さんに提案をして頂ければと思います。

(佐藤会長) 地域住民の意見を吸い上げるのも委員皆さんの責務であるので、提案書は必ず期日までに提出して下さいようお願いいたします。

それでは、次の(2)の集落要望事項に移ります。事務局より説明をお願いします。

(2) 21年度由利地域集落要望事項の概要について（説明 ～由利総合支所振興課 佐藤主査）

配布 資料-5 により説明

9月30日まで取りまとめた今年度の集落要望事項となっています。

今回、委員の皆さんに由利地域の各集落からの要望の内容を、地域協議会委員として業務の参考になればと思い、いち早く提示した次第です。後でご覧になって頂きたいと思います。

（佐藤会長）今回は、事務局から言われたとおり、皆さんの業務の参考にとのことですので、後で目を通して頂ければと思います。それでは、予定の時間も過ぎましたので、これで協議は終了したいと思います。

5. その他

（加藤課長）その他ですが、事務局ではありませんが、どなたもございませんか？  
ないようです。

6. 閉会

これで第2回由利地域協議会を閉会いたします。本日は長時間に渡りお疲れ様でした。

終了 17:15

会議の資料 別紙のとおり

◆ 出席者名 （敬称略）

会長	佐藤 千秋	理事	猿田 正好
副会長	徳山 洋一	由利総合支所長	荘司 和夫
委員	佐藤 文夫	振興課長	加藤 徹朗
委員	尾留川朋四郎	市民課長	鈴木 甚悦
委員	佐藤 イネ子	福祉保健課長	土田 修
委員	木内 進	産業課長	三浦 貞一
委員	木内 芳一	建設課長	遠藤 利夫
委員	橘 明子	教育学習課長	伊藤 康勝
委員	伊藤 正弘	振興課主査	佐藤 弘幸
委員	原田 清孝	振興課主任	小田嶋 一成
委員	相田 勝弘		